

# よきよき地域づくりをめざして

鳥取市立湖東中学校

湖東中学校では、文部科学省の指定を受けて「魅力ある学校づくり」の研究を行っています。授業改善で分かる授業を心がけ、各学級や学年、全校による人間関係づくりを実施し、生徒会を主体とした自治力の育成に取り組んでいます。また、校区内の4小学校との連携にも力を入れています。



## 湖東フォーラム2010の取組より

先月、地域の教育力向上を意識してフォーラムを開催しました。このうちシンポジウムでは、地域の代表に加えて、高い地域教育力が子どもたちの学力を支えているといわれる秋田県の地域コーディネーターが熱い討議を行いました。

### 【目的】

- ・子どもたちを取り巻く教育環境を見つめ直す。
- ・中学校区の学校・家庭・地域の連携を推進する。
- ・地域で子どもたちを育む雰囲気盛り上げる。

**地域行事への参加** 中学生が地区運動会に参加してくれるようになり、地区民が喜んでいる。地域の大人がコミュニケーションを避けている傾向が見られるので、もっと地域行事に保護者を巻き込んでいく努力をしていきたい。(自治会)



みんなが育ち、みんなが支えられる  
地域共同体へ向けて

**動いてみること!** 挨拶、地域の行事、PTA行事等、まずは自分から動き出すことが重要。地域の大人が変わっていくことが環境づくりにつながる。「できる時にできることをできる人間でやろう!」を湖東中校区の地域連携の合い言葉にしよう。

(池ノ端の応援団)

**子どもへの声かけ** もともと地域が子どもたちに声をかける習慣がないと、問題が大きくなってから声をかけることは難しい。まずは親同士が知り合いになり、子どものよいところを認めたり広めたりしていくことが大切である。

(青少年健全育成協議会)

秋田県では学校や教員に対する信頼感が強く、教育に協力することは「当たり前」の気風が維持されている。そのことが子どもたちにとってよい影響を与えることも浸透している。実際には協力的な声ばかりではないが、教員もそうした期待に応えるよう熱心に指導したり関わったりして相乗効果をあげている。身近で困っている人がいれば、気付いた人から声をかけ合える地域でありたい。(秋田県大館市地域コーディネーター)

### 子どもとの時間を大切に

孤立した親が増えている。子育てに自信がなかったり、忙しくて自分の子どもの成長に関われなかったりする親も少なくない。子どもと過ごせる時間は短いので、親は子どもと関わる時間を大切にしてほしい。

(小学校PTA)

家庭学習を含めた学力向上や生活習慣、生徒指導上の問題行動等について、学校だけの対応では限界があり、校種間や家庭・地域との連携の重要性が指摘されています。校区内の人材や施設等を見直して、どんな取組が可能なのか、役割をどうするのか等、胸襟を開いて話し合うことから連携が始まります。それぞれの地域性もありますが、これからのあるべき姿をめざして学校が意識を変革し、発信していくことが求められています。